

地域を交通で支えた 津軽鉄道の今と昔を学ぶ

津鉄ア・モーレが取り組み紹介

老人クラブ連合会が、1月25日(金)に中央公民館で開催した交流会に、中泊町と五所川原市の若手職員で構成される津軽鉄道活性化推進チーム「津鉄ア・モーレ」のメンバーに講演を依頼し、その取り組みを学びました。

取り組み紹介の前には、津軽鉄道の歩みを振り返り、地域の交通を支えてきた歴史をたどりました。

続いて、津軽鉄道が置かれている状況と、津鉄ア・モーレの取り組み紹介があり、参加した人たちは真剣なまなざしで講演を聞いていました。



乗って応援!!

平成30年度 目標乗車人数	300,000人	津 軽 鉄 道
速報!! 4月～2月分 の乗車人数	177,434人	
目標まであと……	122,566人	



さらなる高みを目指す

阿武咲関が勝ち越し報告

大相撲の舞台で活躍する阿武咲関が1月29日(火)に濱館町長のもとを訪れ、平成31年1月場所の勝ち越しを報告しました。

昨年11月には、祖母の打越千恵子さんを通じて、明治神宮(東京都)で行われた全日本力士選士権大会の優勝報告と優勝杯の寄贈をした阿武咲関。

1月場所の勝ち越し報告とともに、昨年の11月場所で受賞した敢闘賞受賞を報告し、持参したトロフィーを町に寄贈しました。

報告の後は、総合文化センター「パルナス」を訪れ、自身が寄贈した優勝記念杯や賞状を前に、「町民の皆さんに喜んでもらえるような相撲を取りたい」とさらなる活躍を誓いました。

そばづくりで日本文化を学ぶ

中央公民館でそば作り教室

そば作り体験教室が、2月3日(日)に中央公民館で行われました。

昨年11月に続く、今年度2回目の開催で、ALTの皆さんも参加しました。

参加者たちは、講師のデモンストレーションをよく見て、試行錯誤しながら、そば作りに挑戦しました。

作ったそばは、その場で茹でて食して出来栄を確かめながら味わいました。



町民が安心して暮らせるように

消防団新団長へ辞令交付

消防団の新団長への辞令交付式が、2月5日(火)に執り行われました。前団長の長利司さんの退職にともない、新団長に成澤清志さんが任命され、濱館町長からそれぞれ辞令が手渡されました。

濱館町長から「町民の生活の安全のため、よろしくお願ひします」との要請を受け、成澤団長は「団員一丸となって活動していく」と誓いの言葉を述べました。



芸術分野への学校の取り組みが評価

中里小学校が学校奨励賞

静岡県熱海市にあるMOA美術館で、第30回MOA全国児童作品展が2月13日(水)まで開催されました。

1月27日(日)には表彰式が行われ、中里小学校が団体表彰として文部科学大臣賞に選ばれ、中村智彦校長に表彰状が贈られました。濱館町長は「学校で表彰されることは子どもたちの励みになる。おめでとうございます」と中里小学校の取り組みをたたえました。

颯爽とゲレンデを駆け抜ける

学童スキー大会・スノーフェスティバル

学童スノーフェスティバルが2月11日(月・祝)に宮野沢スキー場で行われました。大会は、幼児(回転、そり)、小学生(回転、そり、フラッグ、ばんば、綱引き)に分かれて競いました。結果は次の通りです。(優勝者のみ掲載)

■回転競技

幼児の部…毛内麻恵

男子…角田蒼斗(中里小2年)、荒関陽智(中里小3年)、白塚碧人(中里小4年)、新谷唯斗(中里小5年)、古川琉偉(中里小6年)

女子…毛内晴捺(中里小1年)、田中杏奈(中里小4年)、加藤心春(中里小5年)、古川郁子(中里小6年)

■そり

幼児の部…毛内麻恵

男子…小学校1・2年…三上琥太郎(中里小1年)

小学校3・4年…荒関 陽智(中里小3年)

小学校5・6年…新谷 唯斗(中里小5年)

女子…小学校1・2年…毛内 晴捺(中里小1年)

小学校5・6年…加藤 心春(中里小5年)

■雪上フラッグ

男子…低学年・角田蒼斗 中学年・熊木堅 高学年・小鹿翔平

女子…幼児の部・毛内麻恵 低学年・外崎濤 中学年・坂田菜々

高学年…加藤心春

■人間ばんば

Aチーム…加藤心春、荒関いちは、新谷唯斗、古川郁子、坂田一華、赤石徠翠

■雪上綱引き

チームA…外崎濤、荒関いちは、新谷唯斗、古川郁子、毛内晴捺、坂田奈々、毛内麻恵、荒関彩星、白塚碧人、木村陸、荒関陽智



成長した大豆に舌鼓

中里小2年生が豆腐作り体験

白らの手で種を植えた大豆で、2月15日(金)に中里小学校2年生の児童たちが、同校家庭科室で豆腐作りを体験しました。

講師は町グリーンツーリズムの会「かけはし」の皆さんで、代表の前田さんは、児童たちが好奇心いっぱい鍋を見つめる様子を見て、「出来上がりを待つ児童たちの姿を見れて、うれしかった」と、児童たちが種植えから農業体験して喜んでくれたことに手ごたえを感じていました。

中里小学校2年生の秋田柚凜希さんは「上手にできた。とてもいいにおいがした」と手作りならではの豆腐の出来栄えに興奮気味で感想を話してくれました。



町の広報活動用に

遊技業協同組合が町に寄贈

町の広報活動用にと、青森県遊技業協同組合西北支部が55インチの4K液晶テレビを町に寄贈されました。

濱館町長は「ありがとうございます。町民の皆さまにご覧いただきたい」と話しました。

寄贈されたテレビは、役場1階の交流コーナーに設置されています。

地域の昔話を読み聞かせ

小山内さんが昔っこで今と昔を語る

今泉地区の昔っこや言葉をまとめた「今泉の昔っこ」を刊行した小山内清春さんが、2月16日(土)に図書館で昔っこの読み聞かせをしました。

小山内さんは昔の情景にも触れながら、内潟地区に伝わる昔っこを披露しました。参加した人たちは地域のかつての姿を懐かしむように聴き入っていました。

読み聞かせをした小山内さんは「たくさんの方が集まってくれて嬉しい。読み聞かせで、昔っこや方言を残すことに繋げていきたい」と話しました。



津軽三味線でストーブ列車をお出迎え

津軽中里駅で三味線演奏

ストーブ列車で中泊町に来た観光客をもてなそうと、中里三味線会(代表 大川幸勝)が津軽中里駅で三味線演奏会を開きました。

この演奏会は、ストーブ列車の運行期間である12月から3月まで、月に1回開催されています。三味線演奏のほかにも、つきたてのお餅の振る舞いがありました。ストーブ列車が発発するまでの間、駅ナカにぎわい空間は、大勢の人で活気づいていました。次回の三味線演奏は、3月16日(土)、12時から予定されています。ストーブ列車のお見送りもかねて、足を運んでみてはいかがでしょうか。